

第5回 HIT カーボンニュートラル人材育成協議会 会議記録

日 時：令和7年3月17日(月) 14:30～16:20

場 所：八戸工業大学 2号館3階大会議室

出席者：40名（資料2参照）

次 第：1. 開会

（1）挨拶

HIT カーボンニュートラル人材育成協議会 会長

八戸工業大学 学長 坂本 禎智

（2）構成員の追加について

2. 講演

演題「八戸市における次世代エネルギー導入に向けた取組」

八戸市 総合政策学部 政策推進課 水素等導入推進プロジェクトチーム 技査 山部 佑樹 氏

3. 議事

（1）八戸工業大学のグリーン系に関する改組・新カリキュラムについて

八戸工業大学 工学部工学科 教授 石山 武

（2）八戸工業大学と地域企業の連携について

日本原燃株式会社 フェロー 山田 立哉 氏

（3）質疑応答、意見交換

4. その他

（1）次回協議会開催について

5. 閉会

会議記録

1. 開会

（1）挨拶

2月18日に閣議決定された「第7次エネルギー基本計画」や、国連への温室効果ガスの削減目標提出の遅延、世界情勢などを踏まえると、カーボンニュートラルに対する取り組みがしぼみつつある印象を受ける。一方で、本協議会はメンバーが情報共有・考察し、次の取り組みに向けて動ける組織である。自身は今年度で退任となるが、次期学長就任後も支援いただき、今後も会を拡大させてほしい。

（2）構成員の追加について

公益財団法人環境科学技術研究所に参画いただくことが報告された。

2. 講演

演題「八戸市における次世代エネルギー導入に向けた取組」

次世代エネルギー導入に向け、国として関連法律の制定や支援制度確立などを実施している。それを踏まえ、八戸市は水素等導入推進プロジェクトチームを立ち上げ、市内企業へのヒアリングや現場視察、勉強会開催、先進地視察を行っている。これらの取り組みから得た成果や課題、地域性などを鑑み「八戸モデル」の創出を目指している。

3. 議事

(1) 八戸工業大学のグリーン系に関する改組・新カリキュラムについて

本学が 2023 年度に採択された「大学・高専機能強化支援事業」に基づき、特定成長分野（デジタル・グリーン等）に関する特色を強めた学部・学科体制に改組する。グリーン系については先端基礎工学部 先端基礎工学科（仮称）とし、5 コースを設け広く学べるカリキュラムを検討している。

(2) 八戸工業大学と地域企業の連携について

八戸工業大学の業種による就職傾向や、工学関連分野との講義の関係性などを分析した。それらを踏まえると、地域企業と連携することで教育の幅が広がる分野もあるのではないかと。また、教員との共同研究についても連携の余地がある。地域企業が大学の講義に関わることは、地元就職推進の一助にもなる。

(3) 質疑応答、意見交換

・NPO 法人青森風力エネルギー促進協議会 鳥谷部眞実 委員

改組後の先端基礎工学科において 2 年進級時にコース選択とのことだが、コースごとの人数に偏りが出た場合、成績順に振り分けを行うのか？

・八戸工業大学 石山武 教授

足切りを設けることで学生のモチベーションにポジティブな効果が出ることも期待できる一方、その逆が生じる可能性もある。学生の実情を踏まえながら、さじ加減を見て対応することを検討している。

・株式会社八戸インテリジェントプラザ 松坂洋司 委員

八戸市内の企業から、生産性向上が課題だという声を聞く。生産技術の知識に長けた人材が求められている。また、DX を担う人材においては、的を絞った教育も効果的ではないか。システム情報工学コースの学生がデージー東北と連携して取り組んでいる内容は良いものだと思う。

・八戸工業大学 高橋晋 教授

本学において、プラント全体を扱える人材育成の分野は、カリキュラム上弱いのが実情である。また、化学工学は高校生らにとってなじみが薄く、企業と連携してアプローチしていくことが必要だと考えている。今後の展開について検討する上で、ご協力いただきたい。

・八戸工業大学 折田久幸 教授

サーキュラーエコノミーに対する意識付けが遅れている実感がある。八戸の工業地帯はリサイクル事業と密接に結びついており、循環型社会についてより考えていく必要がある。これについて、本協議会等で次回以降検討していきたい。

4. その他

(1) 次回協議会開催について

次回は 2025 年秋頃の開催を検討している。今後学内で検討し、確定次第早急に案内することとした。

5. 閉会